



「藍」に祈りを託す
 (防府市の染色家 鮎村秀子さん)

日本を代表する、海に住んでおられる。藍の染色作家、鮎村 秀子さんは防府市富才番組に出演いただいた。もう10数年前にラジ

たのを機に親しくして、富海の御自宅を訪問した。藍を染めるための「太郎がま」と「次郎がま」で染められるのを見せてもらおう。 詳しいことは知らないが日本の藍は独特で、はじめ高く評価されている。



鮎村さんと住宅展にて

鮎村さんの作品のほとんどは「神への祈り」である。鮎村さん自身敬虔なクリスチャンであり、防府カトリック教会に所属しておられる。 90歳の高齢なのに創作への意欲からか、90歳とは思えない。青よりも濃く紺よりも淡いとも表現する藍。文字でそれを私には表現できないので作品を見ていただきたい。この新聞を後日私

確か年齢は今年90歳だと思うが、この10年間KRY住宅展示場で展示会があり、今年も5月31日から6月2日まで行われ、そこで鮎村さんとも久しぶりにお会いした。 藍は日本だけでなく東南アジアでもあるが、思える。 藍にご自分の祈りが託されているように思える。



一番星



涼風



葡萄